

【プラスアルファ法律学講座 不動産登記法】(水曜日 6 時限)

山田 猛司

講義のねらい

民法の勉強において民法 177 条の対抗要件については判例等を交え学習しますが、実際にその登記手続きについては非常に細かい約束事があります。

そこで、難解と言われる不動産登記制度を不動産登記法の他、政令および通達を体系的に理解することを目的とし、実際の司法書士試験における多肢択一式及び書式に関する不動産登記法の問題の解説も交えながら講義をしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

司法書士試験の合格を目指し、その最重要科目である不動産登記法についてレジュメを基に講義を行います。

基本原則を説明した後、事例研究を行い、応用の効く知識とした後、実際の司法書士試験の過去の傾向を解説しながら講義を行います。

予備校のような暗記型ではなく、理解と応用力を養成したいと思いますので、効率的な講義を実施するため、事前に民法その他の実体法を復習し、レジュメを予習のうえ講義に臨むようにしてください。

不動産登記法の実体法は多岐に渡るため民法以外の借地借家法・区分所有法・利息制限法・仮登記担保法・工場抵当法・信託法等は適宜講義にて解説します。

教科書等

必要なもの 登記六法

レジュメ等は適宜配布予定です。

参考図書（以下の書籍は参考ですので、買わなくても結構です）

『ケース別・権利に関する嘱託登記』山田猛司著（新日本法規出版）

『未処理・困難登記をめぐる実務』山田猛司著（新日本法規出版）

『抵当権・根抵当権に関する登記と実務』山田猛司著（日本加除出版）